

実践事例② B校 第2学年

10月の実践

単元名：君は〇〇を知っているか ～評論文を書こう～

教材名：君は「最後の晚餐」を知っているか（光村図書2年）

単元の目標：①学習内容に興味をもち、他者の文章の書き方を自分の表現に生かそうとする。

②社会生活の中から題材を決め、材料を集めながら自分の考えをまとめることができる。

③自分の考えが効果的に伝わるように、観点を決め、根拠を明確にして書くことができる。

④相手や目的に応じて、話や文章の形態や展開に違いがあることを理解することができる。

指導計画（全6時間） ※本単元で目指した「生徒の望ましい姿」に対する手立て…

次	時間	学 習 活 動	手 立 て
一	1	<ul style="list-style-type: none"> ○「最後の晚餐」の魅力伝える文章を書く。 ○評論文のモデル文を読み、学習の見通しをもつ。 	A④ 学習計画を示す A⑥ モデル文の提示
二	2	<ul style="list-style-type: none"> ○説明的な文章の文章構成を確かめる。 ○筆者の「科学的な見方」をつかむ。 	C⑥ ファイリング
	3	<ul style="list-style-type: none"> ○筆者の「全体と細部に注目する見方」をつかむ。 ○評論文の書き方を確かめる。 	C⑥ ファイリング
	4 本時	<ul style="list-style-type: none"> ○友達に魅力を伝えたいと思うものを決め、対象を分析する。 ○評論文の構成メモを作る。 	A⑪ 考えるためのヒントを用意し、利用しながら一人で考えられるようにする。 A⑭ ワークシートの工夫
	5	<ul style="list-style-type: none"> ○構成メモを基にして、「君は〇〇を知っているか」という題で評論文を書く。 	
三	6	<ul style="list-style-type: none"> ○班で作品を読み合い、互いにアドバイスをする。 ○単元の学習を振り返る。 	B⑯ 評論文の題材別に班編成を行い、互いの作品を評価する場を設定することで、自らの考えを深めることができるようにする。 C⑫ 単元で学んだことを、実生活や他教科の学習の中でどのように生かすことができるかを記述させる。

本時の目標

社会生活の中から題材を決め、材料を集めながら自分の考えをまとめることができる。



本時の授業の様子

※本単元で目指した「生徒の望ましい姿」に対する手立て…



その他の手立て…



	学習活動	教師の働き掛け (○) と評価 (◆)
導 入	1 前時の学習を振り返る。  <p>学習計画表を見てください。前回までに…。</p>	○学習計画表を基にして、前時までの学習を振り返らせた。 ○デジタル教科書を使って教材文の振り返りを行い、筆者の論の展開の仕方や表現などを振り返らせた。
	2 本時のめあてと学習活動を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>めあて 評論文『君は〇〇を知っているか』を書くために、観点や根拠を整理して構成メモを作成しよう。</p> </div>	○作品の魅力を語るためには、観点を立て、その作品が素晴らしいと思える根拠を挙げる必要があることを確認させ、本時の活動の見通しをもたせた。
展 開	3 評論文の題材を決め、対象の魅力を分析する。  <p>人物、音楽、書籍... 何を題材にして評論文を書こうか...</p>	<div style="border: 2px dashed black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>A⑪ 生徒が自主的に取り組むことができるようにするために、考えるヒントを記入したワークシートを使用した。</p> </div> ○自分の身近なものや関心のあるものの中から、その魅力を伝える題材を決めさせた。 <div style="border: 2px dashed black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>A⑪ 題材を決められない生徒には、タブレット内に用意した絵画、音楽、書籍、人物などの具体例を参考にして、題材を決めさせた。</p> </div> ○どのような観点を示して魅力を伝えるか、対象のすばらしさを述べるための根拠を何にするか考えさせた。 観点を決められない生徒には、選んだ対象に合う観定の例を示して、思考を促した。

	学習活動	教師の働き掛け (○) と評価 (◆)
展開	 <p>4 自分の考えを整理して、構成メモを作成する。</p>	<p>A⑭ 生徒が自分の思考の過程をたどることができるように、ワークシートの構成を工夫した。</p> <p>○自分の考えやその根拠をどのような順序で書くと伝えたい内容が伝わるか、構成を考えさせた。</p> <p>A⑪ 段落構成や段落の役割を意識させるとともに、評論文で使ってほしい表現についても示し、評論文を書くときの参考にできるようにした。</p> <p>◆社会生活の中から題材を決め、材料を集めながら、自分の考えをまとめることができる。【書く能力】</p>
まとめ	<p>5 本時の学習を振り返り、次時の学習内容を確認する。</p>	<p>○学習計画表に、本時の学習の振り返りを記述させた。</p> <p>○次時の学習内容を確認し、学習活動への展望をもたせた。</p>

検証授業を振り返って

(成果○ 課題●)

- 対象の魅力や価値を論じるためには、自分自身がその対象をよく知っていなければならない。生徒自身もそのことに気付き、おのずと身近なものや最近関心をもっているものを題材として選択していた。そのため、抵抗なく活動に取り組むことができ、最後まで粘り強く活動することができた。
- ネームプレートを使って黒板にグループを提示し、ほかの人がどのような分野の題材で評論を書いているのかをはっきりさせた上で交流させた。また、読んでみたい分野の評論を書いた人との交流を取り入れることもでき、生徒の意欲につながった。
- 評論文の中で、教材文の文末表現を使わせたことで、普段は使用しない表現に触れる機会になった。特に、どのように書いてよいか分からずいつもは活動の手が止まってしまう生徒も、提示した文末表現を使うところから始めることができた。
- 生徒の実生活と「評論」を結び付けることが難しく、学習のゴールをつかみづらいと感じている生徒もいた。
- 教科書教材の文章表現に大きく影響され、特に書き出し部分の表現の工夫に膨らみが見られなかった。

中学校第 2 学年 国語科学習指導案

単元名 君は〇〇を知っているか ～ 評論文を書こう ～

教材名 「君は「最後の晚餐」を知っているか」(光村図書 2年)

1 単元について

(1) 生徒観

本学級の生徒は、4月に行われた学習状況調査において、文章の展開を読み取ったり、目的に応じて要約したりするなどの「読む能力」を問う問題で県平均を上回った。しかし、「書く能力」においては、自分の考えをもち、根拠を示しながら書く問題でつまずきが見られた。

6月には、「生物が記録する科学」の学習において、文章全体と部分の関係や具体的事例の役割などに注意して筆者の主張を読み、文章の構成や展開等の工夫について、根拠を明確にして自分の考えをまとめる活動を行った。その中で、根拠を示しながら順序立てて書くことを苦手としている生徒の実態が見られた。このことから、自分の考えをもち、根拠を示しながら順序立てて書く力を養う必要があると考える。

(2) 教材観

本単元は、中学校学習指導要領解説国語編「B書くこと」領域の「ア 社会生活の中から課題を決め、多様な方法で材料を集めながら自分の考えをまとめること」と、「ウ 事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書くこと」を目標としている。

本教材は、解剖学、遠近法、明暗法などの科学的知識を駆使して描かれたレオナルド・ダ・ヴィンチ作「最後の晚餐」の魅力を述べた評論文である。筆者がこの絵を「かっこいい」と評価する根拠や、論の展開が明確で、説得力がある。そのため、根拠の示し方や論の展開の仕方など、自分の考えが効果的に伝わるように書くときのモデルと成り得る教材である。

(3) 指導観

本単元の学習課題を「自分の考えを効果的に伝えるために、観点を決め、根拠を整理して、魅力を伝える評論文を書く」とした。本単元では、評論文がどのような文章であるかを学習した後、生徒自身が考える「最後の晚餐」の魅力を書く活動を行う。その後、生徒自身が書いた文章と教材文とを比較しながら読むことで、筆者の根拠の示し方や論の展開の仕方を捉えさせ、自分の文章に生かすことができるようにしたい。また、筆者は、解剖学、遠近法、明暗法という科学的な観点や、全体や細部に注目する観点を「最後の晚餐」の魅力を述べているが、対象を分析するのにふさわしい観点があるということにも気付かせたい。そして、自分の身近なもので関心があるもの、あるいは、他の人に魅力を知ってほしいものなどを題材にして、評論文を書く活動を通して、自分の考えが効果的に伝わるように書く力を身に付けさせたい。

2 単元の目標

- ・学習内容に興味をもち、他者の文章の書き方を自分の表現に生かそうとする。(関心・意欲・態度)
- ・社会生活の中から題材を決め、材料を集めながら自分の考えをまとめることができる。(書くこと)
- ・自分の考えが効果的に伝わるように、観点を決め、根拠を明確にして書くことができる。(書くこと)
- ・相手や目的に応じて、話や文章の形態や展開に違いがあることを理解することができる。

(言語についての知識・理解・技能)

3 単元の評価規準

【現行の評価の観点による評価規準】

国語への 関心・意欲・態度【関】	書く能力【書】	言語についての 知識・理解・技能【言】
①学習内容に興味をもち、他者の文章の書き方を自分の表現に生かそうとしている。	①社会生活の中から題材を決め、材料を集めながら自分の考えをまとめている。(ア) ②自分の考えが効果的に伝わるように、観点を決め、根拠を明確にして書いている。(ウ)	①相手や目的に応じて、話や文章の形態や展開に違いがあることを理解している。 ((1) イ (オ))

【新しい評価の観点による評価規準】

※新学習指導要領の評価の観点で示した。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①文章の構成や展開について理解を深めている。 ((1) オ)	①評論文を書くために、社会生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 (Bア) ②根拠の適切さを考えて説明や具体例を加え、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 (Bウ)	①文章の構成や展開について理解を深めようとするとともに、社会生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、自分の考えが伝わるように工夫して評論文を書こうとしている。

※佐賀県教育センター「プロジェクト研究(中学校国語科教育研究委員会)」の試案である。

4 指導と評価の計画 (全6時間 本時4/6)

質的改善を図った手立て…

次	時	主な学習活動	指導上の留意点	評価規準【 】 評価方法【 】
一	1	○評論文とはどのような文章か知る。	・「学習の窓」を読み、評論文とはどのような文章か説明部分に線を引かせる。	【関】① [学習活動の観察] [学習計画表への記述の分析]

		<ul style="list-style-type: none"> ・評論文のイメージをつかませるために、自分たちの身近で、根拠やその価値を論じる事例がないか考えさせる。(食レポ・○○芸人・自己PR等) ・食レポを例に挙げて、評価する「観点」とはどのようなものか説明する。 ・生徒一人一人がじっくりと絵を見て考えることができるように、タブレット(学習者用デジタル教科書)を用いる。 ・生徒が学習を見通すことができるように、学習計画表を基に説明する。 		
	<p>○「最後の晚餐」の魅力を伝える文章を書く。</p> <p>○学習課題と学習の進め方をつかむ。</p>	<p>学習課題</p> <p>自分の考えを効果的に伝えるために、観点ごとに根拠を分類して、魅力を伝える評論文を書く。</p>		
	<p>○評論文のモデルを読み、単元のゴールのイメージをつかむ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身近なものの中から題材を決め、評論文を書くことを確認する。 		
二	2	<ul style="list-style-type: none"> ○範読を聞き、おおまかな内容をつかむ。 ○説明的文章の文章構成を確かめる。 ○筆者が「最後の晚餐」を「科学的な見方」で分析・評価している部分を捉える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板の音声機能を使い、文章構成に注意して聞くように促す。 ・既習教材「生物が記録する科学」の学習を想起させ、本教材の展開と比較して考えるように促す。 ・筆者の文章の書き方を捉えさせるために、タブレット(学習者用デジタル教科書)に表示された教材文にペン機能で線を引きながら整理させる。 ・筆者が「科学的な見方」で分析・評価している部分を捉えることができるように、「解剖学」「遠近法」「明暗法」というキーワードに気付かせる。 	<p>【言】①</p> <p>[学習活動の観察]</p> <p>[ワークシートへの記述の分析]</p>

	<p>3 ○筆者が「最後の晚餐」を「全体と細部に注目する見方」で分析・評価している部分を捉える。</p> <p>○評論文の書き方を確認する。</p> <p>○次時の活動に向けて、友達に魅力を伝えたいと思うものの候補を考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の考えを確かめさせるために、タブレット(学習者用デジタル教科書)を用いて、修復前と修復後の「最後の晚餐」を比べさせる。 ・評論文の書き方が確認できるように、観点を決め、根拠を示しながらその価値を述べるということを押さえさせる。 ・次時の活動の見通しをもたせるために、自分がよく知っているものや興味をもっているものを想起させる。 	<p>【言】① [学習活動の観察] [ワークシートへの記述の分析]</p>
<p>4 本時</p>	<p>○友達に魅力を伝えたいと思うものを決め、対象を分析する。</p> <p>○評論文の構成メモを作成する。</p> <p>5 ○構成メモを基にして、「君は○○を知っているか」という題で評論文を書く。</p>	<p>生徒が自主的に取り組むことができるようにするために、考えるヒントを記入したワークシートを活用させる。</p> <p>題材を決められない生徒には、絵画、音楽、書籍、人物など、幾つかのジャンルを提示し、思考を促す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観点を決められない生徒には、観点の例を挙げて、思考を促す。 ・自分の考えやその根拠をどのような順序で書くと伝えたい内容が伝わるか、構成を考えさせる。 ・論の展開の仕方、根拠の適切さを確認させる。 	<p>【書】① [学習活動の観察] [ワークシートへの記述の分析]</p> <p>【書】② [学習活動の観察] [評論文の記述の分析]</p>
<p>三</p>	<p>6 ○評論文をグループで読み合い、アドバイスをを行う。</p> <p>○単元を振り返る。</p>	<p>論の展開の仕方、根拠の適切さという視点で読むことを確認させる。</p> <p>単元を通してどのような力が付いたか、また、身に付いた力がどのような場面で生かされるかを記述させる。</p>	<p>【関】① [学習活動の観察] [ワークシートへの記述の分析]</p>

5 本時の指導計画（4 / 6 時）

(1) 目標

社会生活の中から題材を決め、材料を集めながら自分の考えをまとめることができる。

(2) 展開

質的改善を図った手立て…

	学習活動	指導上の留意点及び支援 (○) と評価 (◆)
導入	1 前時の学習を振り返る。	○学習計画表を基に、前時までの学習を確認させる。
	2 本時のめあてと学習活動を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> めあて 評論文『君は○○を知っているか』を書くために、観点や根拠を整理して構成メモを作成しよう。 </div>	○作品の魅力を語るためには、観点を立て、その作品が素晴らしいと思える根拠を挙げる必要があることを確認する。
展開	3 評論文の題材を決め、対象の魅力を分析する。	<div style="border: 2px dashed black; padding: 5px;"> 生徒が自主的に取り組むことができるようにするために、考えるヒントを記入したワークシートを活用させる。 </div> ○自分の身近なものや関心のあるものの中から、その魅力を伝える対象を決めさせる。 <div style="border: 2px dashed black; padding: 5px;"> 題材を決められない生徒には、絵画、音楽、書籍、人物など、幾つかのジャンルを提示し、思考を促す。 </div> ○どのような観点を示して魅力を伝えるか、対象のすばらしさを述べるための根拠を何にするか考えさせる。観点を決められない生徒には、選んだ対象に合う観点の例を示して、思考を促す。
	4 自分の考えを整理して、構成メモを作成する。	○自分の考えやその根拠をどのような順序で書くと伝えたい内容が伝わるか、構成を考えさせる。 ◆社会生活の中から題材を決め、材料を集めながら、自分の考えをまとめることができる。【書く能力】

まとめ	5 本時の学習を振り返り、次時の学習内容を確認する。	○学習計画表に振り返りを記入させ、次時は評論文を書くことを伝える。
-----	----------------------------	-----------------------------------

6 本時の評価

評価規準	社会生活の中から題材を決め、材料を集めながら自分の考えをまとめている。 【書く能力】		
判断する目安 (判定基準)	十分満足できる状況(A)	おおむね満足できる状況(B)	努力を要する状況の生徒への支援 (C)
	観点を決め、根拠を示して、対象に対する考えをまとめている。	観点を決め、対象に対する考えをまとめている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本文やモデル文を参考にさせる。 ・ 観点の例をいくつか提示する。
評価の方法	ワークシートへの記述の分析		